



第1章：総論

(1) 策定の背景・意義

- 就職等を契機とした東京圏への若年女性の転出超過が顕著
- 栃木県内の仕事や雇用の状況と、女性が希望する働き方やライフスタイルとの間のミスマッチの解消を図っていく必要
- 「G7栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合」の成果を本県施策に反映しながら、女性の活躍を一層推進していく必要
- このため、女性を取り巻く環境の変化、雇用や働き方のニーズのほか、本県の強みや産業構造、ビジネスにおける今後の潮流なども踏まえ、女性に魅力ある雇用や産業の創出に向けた事業戦略を策定

(2) 本戦略の位置付け

- 女性の就職等を契機とした県外転出に歯止めをかけ、本県産業の振興を図るため、女性が求める雇用や産業の創出に向けた取組をとりまとめたもの
- 「新とちぎ未来創造プラン」や「とちぎ産業成長戦略2026-2030」等と調和を図り、国の施策の方向性なども踏まえながら推進

(3) 計画期間

令和6（2024）年度から令和12（2030）年度（7年間）

※令和8（2026）年3月一部改訂

第2章：現状と課題

◆ 3つの観点からの調査

(1) 栃木県の産業や雇用の状況

(2) 栃木県や女性を取り巻く経済社会情勢の変化

(3) 女性の仕事や働き方に対する考え方・ニーズ

◆ 調査結果から導き出された主な課題

- ♀ 「情報通信業」など、女性の正規雇用が進む新たな産業への対応
- ♀ 本県が強みとする「製造業」における女性の働き方のニーズ等に応えられる企業づくり
- ♀ DX等のテクノロジーの進化に対応し、地域の発展や雇用を牽引できる中堅企業・スタートアップ企業への対応
- ♀ 女性の希望にかなう高い収入や、ワークライフバランスの充実、働き方の自由度がある仕事・雇用の創出
- ♀ 希望する仕事への就業やキャリアアップを目指せる環境の整備
- ♀ DX等、時代の潮流に対応した専門的な知識や能力などを伸ばせる環境の整備

課題を踏まえて必要な取組

女性が求める仕事づくりへの対応

女性が求める働き方への対応

女性が求めるキャリア実現への対応

+

本県で暮らし働く魅力、女性のライフステージに応じた支援策等の発信

第3章：めざす将来像

将来像

自分らしいキャリアや働き方の希望がかない、女性も企業も輝く“とちぎ”

1. とちぎに女性が希望する仕事をつくる3つの政策

(1) 女性に魅力ある雇用や産業が集まる“とちぎ”

(2) 女性が求める働き方ができる“とちぎ”

(3) 女性が求めるキャリアが実現できる“とちぎ”

2. とちぎで働く女性を呼び込み、支える2つの連携政策

(4) 住みたい・働きたいと思える“とちぎ”

(5) 結婚や子育ての希望をかなえる“とちぎ”

第4章：具体的な取組

(1) 女性に魅力ある雇用や産業が集まる“とちぎ”

① 女性から選ばれる新たな産業の振興・創出

- ◆ 女性の雇用創出力が高い情報通信産業等の振興、本県企業における更なるDXや新たな付加価値創造の促進
- ◆ 女性が求める高い成長環境や技術力などを有し、県内経済の新たな原動力となるスタートアップ企業の育成
- ◆ 県内大学等との連携による新たな産業の振興やその担い手となる人材の育成・確保に向けた仕組みづくりの推進

② 様々な産業分野における女性の活躍できる職域の更なる拡大

- ◆ 本県が強みとする製造業をはじめ、様々な産業分野における女性の活躍促進や働く環境の整備に取り組む企業への支援
- ◆ 医療・福祉等、女性の就業が多い産業における更なる人材の確保、活躍促進
- ◆ 女子小・中・高校生におけるアンコンシャス・バイアスにとらわれない進路選択の支援

(2) 女性が求める働き方ができる“とちぎ”

① 企業における女性活躍やワークライフバランスの推進

- ◆ 女性の経済的自立に向けたオール栃木体制での女性活躍の推進、ワーク・ライフ・バランス実現の促進

② 女性が求める多様なワークスタイルの推進

- ◆ 時間や場所に柔軟な働き方の普及・促進

③ とも働きやとも育ての推進

- ◆ 固定的な性別役割分担意識等の解消、男女が共に仕事・育児・家事で活躍できる環境づくり

(3) 女性が求めるキャリアが実現できる“とちぎ”

① 女性管理職の登用促進

- ◆ 本県企業等で主導的な役割を担うことができる女性の育成など、意思決定過程への女性の参画促進

② 女性のキャリア形成支援の充実

- ◆ 専門的な知識や能力を伸ばし、女性のキャリアアップの希望をかなえる環境の整備
- ◆ 女性の更なる社会進出へとつながる新たなチャレンジの支援

③ 希望する仕事への就職支援

- ◆ 県内産業界との連携による若者の県内企業への就職促進
- ◆ 女性のニーズを踏まえた希望する仕事への就労支援
- ◆ 県内外の学生等の本県への定着やUIJターン就職の積極的な推進

(4) 住みたい・働きたいと思える“とちぎ”

① とちぎで暮らし、働く魅力の発信

- ◆ 東京圏への積極的なPRによる移住促進
- ◆ 県内の若い世代におけるとちぎへの愛着や誇りの醸成

② 性別によるアンコンシャス・バイアスの解消に向けた啓発

- ◆ 社会全体の意識変革、男女がともに活躍できる環境づくりの推進

(5) 結婚や子育ての希望をかなえる“とちぎ”

① 結婚の希望をかなえる支援の充実

- ◆ 結婚を希望する方への幅広い出会いの機会の提供、社会全体で交際進展を後押しするなど、県民総ぐるみでの結婚支援

② 妊娠から子育て期まで切れ目のない支援の充実

- ◆ 県民が安心して子どもを産み、育てることができ、子どもが健やかに成長できる地域社会の実現

第5章：戦略の推進

(1) 関係機関との連携

G7大臣会合における日光声明も踏まえながら、オール栃木体制で取組を展開

(2) PDCAの整備

とちぎ未来創造プラン等の点検・評価と併せて検証、改善等を実施